

# P T A 進路委員会だより 2

令和2年11月30日発行

高岡高等支援学校 P T A 進路委員会

<日時> 10月30日(土) 13:55~15:35

- <内容>
- 1 卒業生保護者の講話、質疑応答
  - 2 本校進路指導主事の講話、質疑応答



## 卒業生保護者の講話

2名を講師に迎えて、就職に至るまでの経緯や就職後の様子、会社との連携や家庭での支援についてお聞きしました。

### 【平成29年度生卒業生保護者】

<就労継続支援A型事業所で働いている。>

#### 講話の概要

- ・パート勤務(時給制)で、月に10万円程度の給料。母親が管理している。
- ・バスとあいの風鉄道、自転車で通勤している。
- ・成功体験が少ない。自信をもつことができるように自力で通勤できるように練習した。
- ・卒業後に就職した事業所が突然閉鎖することになり途方に暮れたが、ハローワークに通い、現在の事業所に就職できた。本人は、失業中は働かないとお金がもらえないことを実感し、働けないことが辛かったので働くことの有難さがよく分かった。
- ・保護者として親がいなくなったときに、子どもがどうして行くのかという不安は大きい。
- ・余暇の過ごし方について模索しているので好きなことや趣味があることが大切である。

### 【平成30年度生卒業生(兄弟)保護者】

<双子の兄は物流センター、弟は老人介護施設で一般就労している。>

#### 講話の概要

- ・兄は時給900円強、月に11~12万円程度の給料。母親が管理している。配送センターで、力仕事を行っている。
- ・弟は時給800円強で、月に10万円程度の給料。母親が管理している。高齢者施設で就職した当時は、清掃や食事の配膳等の仕事だったが、現在は利用者のおむつ交換等いろいろな介助ができるようになり、即戦力として捉えられている。
- ・在学中の就業体験で、それぞれが自分の得意、不得意分野を見つけることができた。
- ・親が思う以上に、子どもは成長していると感じている。

#### Q&A (Q保護者 A卒業生保護者)

Q：障害者年金について30年度卒業生は、双子の一人は支給されもう一人は支給されなかったと伺ったが、なぜ支給されなかったか、また障害者年金について詳しく教えてほしい。

A：審査の基準は不明である。人によってもらえる額は違う。等級がいくつもあり複雑である。医者の意見書が必要なので、かかりつけの病院や医師がいるとより丁寧に子どもについての意見を書いてくれて良いと思う。

Q：運転免許取得についての考えをお聞かせいただきたい。

A：免許取得についてはそれぞれのお子さんの実態に応じてそれぞれの考えがあると思う。事故などのトラブルの時、対処できるかという不安があるので運転免許は取得していない。しかし若い時なら自転車で動けるが、年を重ねたときのことを考えると、運転免許は持っている方がよいという思いもある。

#### 保護者アンケートから

- ・ 仕事内容や給料、通勤方法、免許、年金の手続きなど、具体的な話が聞けて、とても良かった。
- ・ 年金の額など、一人一人違うのだと分かった。
- ・ 障害者として就職すると、給与面では大変厳しいと思ったが、健常者として就職して、勤務先からの評価が悪くなるよりは、無理なく長く務めていければよいのではと思った。
- ・ 運転免許は「事故が起きた後が心配。他の人に迷惑を掛ける訳にはいかない。取得させるつもりはない。」とハッキリとした考えを聞けて、いろんな意見があると理解できた。
- ・ 就職してからは、親と会社の担当者とのつながりが大切だと思った。入社後のトラブルが聞けて良かった。
- ・ 就職先は、親が決めるのではなく、子供の意見も尊重することが大切だと思った。
- ・ 自分に合った仕事・職場で楽しく働くことが理想である。
- ・ 常に、将来の不安があるのは、皆同じだと思った。親の不安を共有出来たことが嬉しかった。
- ・ 就職したから終わりではなく、日々の問題や課題があり、子供の成長を気にかけて見守ろうと思った。
- ・ 卒業生保護者が、大変な事も明るく話してくださった姿が印象的であった。
- ・ 自分に合った職場で楽しく仕事ができることで、自信につながり人間関係も広がることで、社会人としてのルールも学ぶことができると思った。自分の子供もいろいろなことに興味を持って、将来のことを考えながら学校生活を過ごしてほしいと思う。

## 進路指導主事の講話

本校の進路指導主事 坂井由紀子先生を講師に迎え、「進路の手引き」を参照にしながら、進路指導の流れについて話をさせていただきました。



### 就業体験の各学年のポイント

<1年>校内就業体験 → 第1回トライアル就業体験 → 第2回トライアル就業体験

- ・「働くことって楽しい」「働くことって大変」を感じてほしい。
- ・就業体験を通して成功体験を積んでほしい。
- ・作業日誌は保護者も確認してほしい。コメントを書いて、応援してほしい。

<2年>第1回就業体験 → 第2回就業体験

- ・どんな職種が合っているのか等自分の適性を見極めてほしい。
- ・勤務地まで自分で通えそうか等、通勤方法や通勤時間について考慮してほしい。
- ・就職も視野に入れて考えていく必要がある。

<3年>第1回就業体験 → 第2回就業体験 → 第3回就業体験

- ・1回目と2回目の間に臨時的（短期間）就業体験がある場合もある。
- ・長く働き続けることができるかを見極めていってほしい。
- ・就業体験期間が終わってもこの会社にまた来たいと思うか、この会社の人とまた働きたいと思うかをよく考慮し、進路を決めてほしい。

### Q&A (Q保護者 A進路指導主事)

Q：1年生では就業体験先は自分で決められないのか？

A：1年生の第1回就業体験は、身近な会社での体験を行う。2年生以降は懇談会等を行い本人の合うところや行ってみたいところを考慮して決めていくことになる。

### 保護者アンケートから

- ・学年別の就業体験の流れがよく分かった。1回1回意味がある就業体験だと感じた。
- ・少しでも日頃から就職に向けて、準備・心構えを作っていくべきだと思った。
- ・就業体験を3年間体験する中で、子供と話し合うことで、自分の可能性について考え自己の適性職種を見つけていくことが大切だと思った。
- ・他の生徒の体験談を聞き新たな興味を持つことが、職種の幅を広げ良い出会いができると思った。
- ・いつも分かりやすく説明頂いて毎回、身が引き締まる感じである。
- ・就職までの流れがよく分かった。本人が長く続けられる職場が見つけられるように、親もサポートをしっかりしていきたいと思う。そして、良い結果になればよいと思う。

就業体験の目的と家庭の役割

進路指導部

(1) 1～2学年での目的、体験先選定のポイント

		体験の目的 ・身に付けたい力	体験先選定のポイント
1 学 年	校内 月～金曜 5日間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5日間続けて働く</li> <li>・ 健康管理、身だしなみ</li> <li>・ 報告・連絡・相談、安全</li> </ul>	
	第1回 土日を挟む 5日間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会社でのルールやマナーを知る (挨拶、返事、健康管理、就業時間)</li> <li>・ 働くことの厳しさ、楽しさ、喜びを味わう。</li> </ul>	身近な会社 成功体験ができる事 業所
	第2回 月～金曜 5日間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 働くために必要な力を知る。(働く大人を見る。)</li> <li>・ 業種による違いを感じる。</li> <li>・ 自分の適性や長所・短所を把握する</li> </ul>	身近な会社 通勤しやすい会社
2 学 年	第1回・第2回 月～金曜 2週間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ いろいろな業種・職種・作業内容を経験する。</li> <li>・ 自分の適性(自分に合った働き方)を考える。</li> <li>・ 働く場にふさわしい態度</li> <li>・ 情報収集</li> </ul>	適性に合った職種 就労を意識した会社

(2) 3学年での目的、就職までの流れ・手続き

			3～4月：会社見学
3 学 年	第1回 3週間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分に合う働く場所(会社)を見付ける。 (一般企業、特例子会社、A型事業所、その他)</li> <li>・ 働き続ける体力、生活リズム</li> </ul> ☆会社からの評価 ABC	7～8月：求職登録  (臨時就業体験)
	第2回 3週間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 働き続けるときの課題を克服するための工夫を行う。</li> <li>・ 自分に合った働き方、就業時間を試してみる。</li> </ul> ☆会社からの評価 A→求人票	保護者の企業訪問 履歴書作成 入社選考試験 (福祉手続き)
	第3回 2週間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 就労生活をイメージした生活リズム</li> <li>・ 冬の通勤の体験</li> </ul>	移行支援会議 内定通知